

プルメリア53

発行日 2017.11.30 優レディースクリニック 03 (3984) 2278



レベルアップ。

10月末に更年期と加齢のヘルスケア学会に出席しました。今回も興味深い講演が多数あり有意義でした。テーマごとのディスカッションがあり私は「HRT選択の意思決定」に参加しました。保健師・栄養士・エステティシャン・薬剤師・大学院生などが参加しておられ、それぞれの立場からHRTを広めようと頑張っているようです。HRTのメリットを話してもなかなか理解してもらえないという声が多く、女性が自分の意思でHRTを選べるようにはどう支援するのがよいか話が盛り上がりました。すぐ答えがでるものではありませんが、自分もレベルアップして患者様のお役にたてたらと感じる1日でした。

(いとうちゃん)

エストロゲン100周年！

先日医師会に東大の甲賀先生が講演で来られました。内膜症の研究でご高名な先生ですが、今回はエストロゲンについてのお話をしてくださいました。

そもそも100年前にdrパニコラウがネズミの膺の上皮細胞を染色して調べ、性周期により変化があることからエストロゲンの存在が示唆されたのがエストロゲン研究の始まりだとか・・・

今ではエストロゲンを補充したり、自前のエストロゲンを抑えたりする薬が多々ありますが、みんな先人のおかげなのだと思いを馳せる時間になりました。(坂田)

ボンボニエールって知ってる？

皇室の饗宴の引出物は「菓子器」に決まっているそうです。先日、ボンボニエールと呼ばれるこの菓子器の展覧会に行ってきた。明治を迎え、皇室でも諸外国の制度を参考に儀式が行われるようになりました。その中で菓子器が慶事を記念する品として採用されたそうです。展示品はどれも慶びの場にふさわしいものばかりでした。

その中で気に入ったのは天皇陛下ご誕生内宴の際（昭和9年）の「犬張子」のボンボニエールですが、掌に載るほどの大きさの愛らしい菓子器でした。

デザインは明治期では欧州のそれを真似たものでしたが、大正・昭和になると漆や陶磁などを取り入れ日本的なものへと発展してきました。展示してあった数々のボンボニエールに歴史の深さを感じると同時に、その製作を支えた工芸技術の土壌の豊かさに感銘を受けました。

眞子内親王のご結婚は来年秋に予定されています。その際にはどんなボンボニエールになるのかな～。(まつこ)

12月の予定 12/28～1/4はお休みをいただきます。ご迷惑をおかけしますがよろしくお願い致します。

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	1	2	3	4	5	6

○休診 ○午後休診

立教大学のクリスマスツリーが今年も点灯しました。



代弁する私

1日毎に秋深まる季節。先日訪れた新宿御苑の紅葉も、グラデーションの色ますます濃くして人の目を楽しませてくれていた。

ピーチニュースがプルメリアから遠ざかっている間に5歳の誕生日も過ぎ、今日もベッドの上で骨などが刺っている。

夕方8:30頃カチャッと玄関の鍵が開く音。ピーチは2階から半身を乗り出してママを出迎える。「ママー？おかえりー」（ピーチの代弁）

先日代弁しなかったら「どうしてだまっているの？ママ？って言ってよー」と私を見上げる。ア、ごめんごめん。「ママー？おかえりー」いつまでも元気でいてね、ピーチ。(渡辺)